

## 「お茶の間宣言」感謝状受賞者インタビュー

氏名 塩澤 美響 (東中2年)

応募作品 朝の「おはよう」はかかせない、家族で並ぶスタートライン

策定作品 朝の「おはよう」 家族で並ぶスタートライン



1 作品に込めた思い

いつも当たり前のこととしてしているあいさつが 朝のスタートラインだということを伝えたかった。

2 作品が採用された感想

まだ実感は湧かないがうれしい。

3 今後の「お茶の間宣言」に期待すること

多くの市民に知ってもらいたい。



## 「お茶の間宣言」感謝状受賞者インタビュー

氏名 海野 真里亜 (大浜中3年)

応募作品 「いってらっしゃい」「おかえりなさい」であたたまる心。

家(ここ)がわたしの帰る場所。

策定作品 「いってらっしゃい」「おかえりなさい」であたたまる心

ここがわたしの帰る場所



1 作品に込めた思い

私はいつも家族の笑顔の声かけ(「いってらっしゃい」「おかえりなさい」)に支えられている。私の家(うち)のように、外で何かあっても安心できる家族があるうれしさを伝えたかった。

2 作品が採用された感想

びっくりしたが、とても嬉しかった。

3 今後の「お茶の間宣言」に期待すること

家族の大切さ、温かさを多くの市民に知ってもらい、家族を大切にしたい。



## 「お茶の間宣言」感謝状受賞者インタビュー

氏名 鈴木 美里 (磐田市)

応募作品 温かく日当たりの良い畳部屋で祖父母から、昔の話を聞いたり、一緒にあやとりやお手玉をして遊ぶ。昔の遊びが得意な祖母を尊敬のまなざしで見ると、ほのぼのとしたお茶の間が理想です。

策定作品 昔の話、昔の遊び 祖父母に教わるほのぼの「お茶の間」



### 1 作品に込めた思い

幼少期に、祖母から遊びを教わったり、昔の話を聞いたりした温かな時間がとても好きでした。今回「お茶の間」と聞いて、幼少期の思い出を作品にしました。

### 2 作品が採用された感想

驚いています。長い文章で書いた作品を、私の思いが伝わる短くわかりやすいフレーズに策定していただき、うれしく思います。

### 3 今後の「お茶の間宣言」に期待すること

核家族の家庭が多いですが、「お茶の間宣言」を見て、祖父母とふれあえる時間が増えていくことを望んでいます。



## 「お茶の間宣言」感謝状受賞者インタビュー

氏名 福島 純子 (掛川市七日町)

応募作品 「お手伝い 大好き！」私も家では、小さなお母さん。

策定作品 お手伝い大好き！ 私も家では一人前



### 1 作品に込めた思い

私は幼稚園勤務しているが、園児達はお手伝いが大好き。よくお手伝いをしてくれて、褒められることでより意欲的に手伝いしてくれている。各家庭においても子供達がお手伝いをたくさんして、お家の人から褒められることが増えていって欲しい。

### 2 作品が採用された感想

驚いているが、選んでいただけるとてもうれしい。

### 3 今後の「お茶の間宣言」に期待すること

多くの家庭で「お茶の間宣言」が浸透していって欲しい。そして、家族団らんの時間を多く持てるようになり、明るく温かい家庭が増えていって欲しい。



## 「お茶の間宣言」感謝状受賞者インタビュー

氏名 河住 歩香 (城北小5年)  
応募作品 家族で食事 私のおかずはみんなの笑顔  
策定作品 家族揃って食事 私のおかずはみんなの笑顔



### 1 作品に込めた思い

私は、いつも家族みんなでご飯を食べています。食事の時、家族で話をして笑って楽しく食べると、とてもご飯がおいしいことを表現しました。

### 2 作品が採用された感想

学校のたくさんの友達も応募していたので、選ばれてびっくりしました。とてもうれしいです。

### 3 今後の「お茶の間宣言」に期待すること

「お茶の間宣言」を見た人が、私の家のように、家族とお話ししながら楽しくおいしくご飯を食べて欲しいです。



## 「お茶の間宣言」感謝状受賞者インタビュー

氏名 望月 陽子 (掛川市長谷)  
応募作品 「今日あったこと」お茶の間は小さな発表会  
策定作品 今日あったこと 「お茶の間」は小さな発表会



### 1 作品に込めた思い

子どもの頃、学校等でつらいことがあっても家族に話せずに一人で抱え込んでしまったことがあった。良い事も悪い事も今日あった事を何でも話し、家族と一緒に考えたり喜んだりする理想のお茶の間を作品に込め、コミュニケーションの大切さを伝えたかった。

### 2 作品が採用された感想

自分の思いを込めた作品が採用され、多くの人に知ってもらえることがうれしい。

### 3 今後の「お茶の間宣言」に期待すること

「お茶の間宣言」を見た多くの人が、我が家がどんな「お茶の間」かを振りかえるきっかけとなり、家族の団らんが増え、温かく楽しい家庭が増えて欲しいと思います。



## 「お茶の間宣言」感謝状受賞者インタビュー

氏名 甲賀 哲夫 (周智郡森町)

応募作品 食事中 テレビやゲームは オフ・ライン

家族の会話は オン・ライン

策定作品 テレビやゲームはオフ・ライン 家族の会話はオン・ライン



### 1 作品に込めた思い

テレビやゲーム利用が増え、家族の会話が減少してきていることに危惧している。テレビやゲームが無かった頃を振り返り、家族のコミュニケーションの大切さを伝えたかった。

現在携帯電話で流行っているラインに掛けて、短い言葉で表現した作品にした。

### 2 作品が採用された感想

驚いているが、採用されて光栄です。

### 3 今後の「お茶の間宣言」に期待すること

多くの市民に「お茶の間宣言」を通して、家族団らんの場を作る機会を増やして欲しい。

そして家庭の会話を増やして、家族愛を広めて欲しい。



## 「お茶の間宣言」感謝状受賞者インタビュー

氏名 内藤 一紀 (掛川市細谷)

応募作品 眠る前の読み聞かせ「もう一冊」の声がうれしい父と母

策定作品 眠る前の読み聞かせ 「もう一冊」の声がうれしい父と母



### 1 作品に込めた思い

子どもとふれあう大切な時間として、夜の読み聞かせを行っている。この1冊で終わりと思っても、「もう一冊」の声に、親としての喜びを感じている。

読み聞かせの大切さや子どもとのふれあいの中での親の喜びを伝えたかった。

### 2 作品が採用された感想

受賞の連絡を受けた時は驚きましたが、作品を採用していただき、とてもうれしく思います。

### 3 今後の「お茶の間宣言」に期待すること

「お茶の間宣言」を通して、読み聞かせが広がり、子どもとのふれあう時間が増えて欲しい。

そして、家族のふれあいの中で親子関係が深まり、子ども達の笑顔が増えて欲しい。



## 「お茶の間宣言」感謝状受賞者インタビュー

氏名 高嶋 瞳 (横須賀小6年)

応募作品 休日はテーブル囲んで家族でトランプ笑顔たえないお茶の間を。

策定作品 休日はテーブル囲み家族でトランプ 笑いたえない「お茶の間」



### 1 作品に込めた思い

私の家族は、家族全員でお出かけをしたり、家ではトランプなどをしたりして、楽しく過ごしています。我が家のように、家族みんなが仲よく笑顔のたえないお茶の間の大切さを伝えたかったです。

### 2 作品が採用された感想

びっくりしました。作品が選ばれた事を誇りに思います。

### 3 今後の「お茶の間宣言」に期待すること

「お茶の間宣言」を見たみなさんが、我が家のように、家族全員で楽しく遊んで、明るく笑って過ごせるようになって欲しいです。



## 「お茶の間宣言」感謝状受賞者インタビュー

氏名 松下 直樹 (東中3年)

応募作品 ボランティア活動地域にこうけん一家団結

策定作品 ボランティア活動 地域に貢献 一家団結



### 1 作品に込めた思い

家族で行うボランティア活動の大切さを伝えたかった。

### 2 作品が採用された感想

びっくりしたが、嬉しかった。

### 3 今後の「お茶の間宣言」に期待すること

多くの市民に自分の思いが伝わって欲しい。

